

【自己研鑽メニュー】（各回定員：数名程度）

※申込後に講師に受入確認をして、参加可否をご連絡いたします。

No.	日時	テーマ
1	10月17日(金) 9:45～16:00	【講義】日本の野菜の作型と栽培技術 ①日本における野菜栽培、②施設栽培技術、③作期を伸ばすための作型についての理解を深める。
2	10月23日(木) 13:30～16:00	【講義】施設園芸における病害虫対策 施設栽培の特徴を踏まえた病気や害虫について理解し、さらにその対策について学ぶ。
3	10月24日(金) 9:45～12:15	【講義】育苗 育苗の目的やその方法について理解を深める。接ぎ木についても扱う。
4	10月24日(金) 13:30～16:00	【実習】環境モニタリング機器の取り扱い 施設環境の特性を理解し、導入した施設が栽培目的の作物の環境に合っているかの確認することができるようになることを目指し、環境データの収集・測定方法を学ぶ。
5	10月28日(火) 9:45～12:15	【講義】環境制御技術（微気象） ICT を用いた環境モニタリングおよび、そのデータ分析、活用方法について講義・演習を通して学ぶ。
6	10月28日(火) 13:30～16:00 10月29日(水) 9:45～16:00 10月30日(木) 9:45～16:00	【講義】竹資材を活用した農業用ハウスの建設 【実習】竹ハウス組み立て 地域資源を用いて作物の栽培に適した環境を整えることができることを学ぶとともに、実際にハウスの建設を行う。
7	10月31日(金) 9:45～12:15	【講義】施設栽培における土壌及び施肥管理 施設栽培の特徴を踏まえた土壌や施肥管理について学ぶ。
8	11月6日(水) 9:45～12:15	【実習】施設土壌の養分管理（環境モニタリングを含む） No.7の講義を踏まえ、土壌の養分測定・分析の実習を行う。
9	11月6日(水) 13:30～16:00	【実習】マルチ・トンネルの設置 マルチやトンネルの設置を行い、これらの資材設置による栽培環境の変化を理解する。
10	11月14日(金) 9:45～12:15	【実習】野菜の接ぎ木（環境モニタリングを含む） No.3の講義を踏まえ、接ぎ木の練習を行い、接ぎ木技術の特性を理解する。
11	12月5日(金) 9:45～12:15 12月8日(月) 9:45～16:00 12月9日(火) 9:45～12:15	【演習】農業経営者による事業計画／営農計画の策定（演習・発表） 農業経営者の立場になり、市場や気象条件を踏まえた作物選定、施設及び資材の選定を行い、営農計画の策定、発表を行う。 ※赴任予定国の情報を収集し、研修員と同様に営農計画の作成を行っていただきます。

(2025.9.18)